

## 【気になる話題 ～RSウイルス感染症について～】

RSウイルスは、Respiratory syncytial virus の略称で、軽い風邪から重度の肺炎まで様々な症状を引き起こします。国立感染症研究所は、RSウイルス感染症について大きな流行の恐れがあるとして注意を促しています。

この疾患はふつう冬季に流行しますが、今年は夏季に患者の増加がみられます。奈良県でも第32週（8月8日-15日）から報告数が増加傾向で、週報の外来状況コメントにも言及されています（第32、34、36週週報参照）。

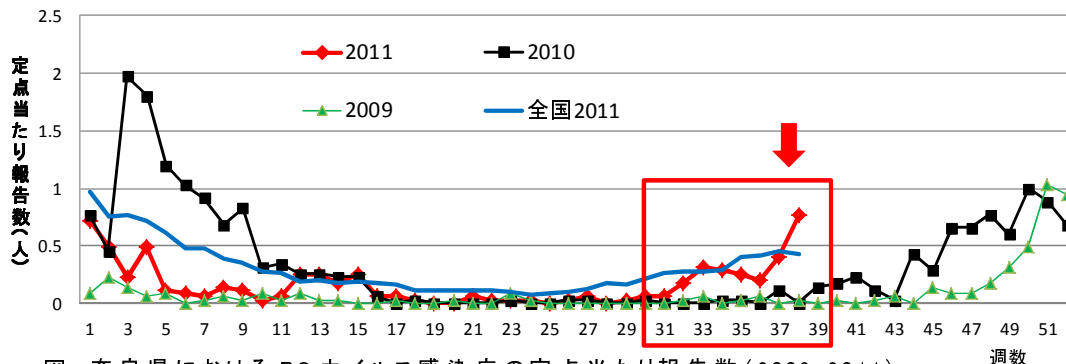


図. 奈良県におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数(2009-2011)

(感染症情報センター 記)